NPO法人キープ・ママ・スマイリング

2022年度活動報告書

（2022年4月～2023年6月）

Topics1　合計1488食分

おいしいお弁当をお届けしました



手作りのミールが22年11月から再開し、405食分を提供。飲食店と協業する「お弁当deスマイリング」も、東京で952食、佐賀で131食をお届けできました。その他、全国6拠点でも食支援のパイロット事業を展開しました。

詳細は2~3ページへ

Topics2　累計4982個

応援パックをお届けしました



コロナ禍で始めた「付き添い生活応援パック無償配付事業」は申請数が着実に増加しています。梱包物の協賛・提供企業も累計73社に。受け取った人の満足度平均は、5段階評価の4.67となっています。

詳細は4~5ページへ

Topics3　140病院

病院別のクチコミ情報も書き込める

「つきそい応援団」サイトをオープン

「同じ境遇のご家族を支えるクチコミサイトを作りたい！」と、22年5月~6月にクラウドファンディングを実施。266名から300万円以上をご寄付いただき、9月にサイトオープンできました。

詳細は6~7ページへ



NEW!

Topics4　有効回答数3643人

付き添い実態調査を発表！国に要望書を提出

22年11月~12月に行った「付き添い実態調査」は、社会的意義の大きなものになりました。23年6月に調査概要を記者発表し、こども家庭庁と厚生労働省に要望書を提出。国は付き添い環境改善の必要性を認めました。

詳細は8ページへ



NEW!

Topics5　242個

40社（者）提供242個のプレゼントが当たる

Smiling Family Days2023キャンペーン



付き添い環境の改善を社会課題として認識してもらうための啓発キャンペーンも3回目に。SNSで付き添い環境のことを拡散するとプレゼントが当たる特別企画では、多くの方がご協力くださいました。

詳細は9ページへ

2022年度の主なトピックスです。
たくさんのご支援とご協力をいただき、
今年度も支援の輪を広げられました。

3年に渡るコロナ禍が続く中、2022年度も多くの方にお力添えをいただき、継続事業は着実に成長し、新たな試みにも挑戦できました。引き続き、病気のお子さんに付き添うご家族の支えになれますよう、スタッフ一同力を合わせて活動してまいります。

キープ・ママ・スマイリング
Keep Moms Smiling!

momsmile.jp

Meal de Smiling

食で支援！ミールdeスマイリング事業

手作りのミールを再開。地域の店舗と協働したお弁当の提供も継続しています。
全国各地に食支援が広がるためのパイロット事業もスタート。

合計405食分 手作り食が11月から再開！

2023年5月

私たちの活動の原点ともいえる「ドナルド・マクドナルド・ハウス せたがやハウス」での手作り食の提供が22年11月から再開しました。約3年ぶり、待ちに待った念願のミールプログラムでした。シェフやボランティアの方々と一緒に、からだにやさしく旬の食材を使ったメニューを心を込めて調理しました。なお、西松建設株式会社様からは今年度も定期的に「夢菜レタス」をご提供いただきました。



春の食材とスパイスを使った「No Code」の米澤文雄シェフの料理



節分にちなみ、恵方巻とお味噌汁

2023年2月

ご家族の声

栄養が偏りがちな中、こんなにしっかり野菜も食べられる、おいしいごはんは久しぶりでした！毎日コンビニで済ませていたので、本当に助かりました。

「お弁当de スマイリング」in東京

協力店舗20店、合計952食　お弁当を提供

2023年3月

コロナ禍の対応として21年1月から始まった、お弁当の定期配付事業。今年度は地域の飲食店20店舗と協働し、聖路加国際病院、東京医科歯科大学病院に毎月お届けしました。洋食からエスニック、中華や韓国料理とバリエーションも豊富です。また、ご紹介がご紹介を呼んで、お弁当に添えるお菓子やフルーツをご提供くださる企業様も増えています。引き続き、支援の輪が広がることを目指します。



「矢場とん東京銀座店」様のロースカツ弁当



「銀座日東コーナー1948」様からは、おいしいサンドウィッチ

2022年7月

ご家族の声

食事は、泣いてる子を横目に大急ぎで、しかも節約のために缶詰と白ご飯ばかりでした。今日は食品を通して、自分自身が丁寧なケアを受けているように感じられました。



「お弁当de スマイリング」in佐賀

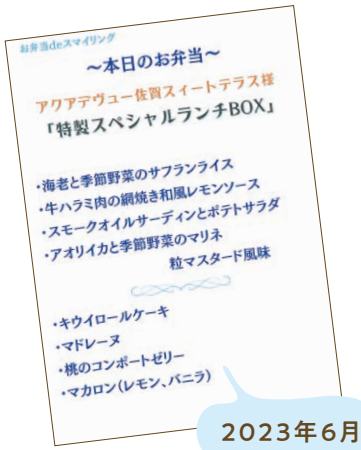
131食分、結婚式場シェフによるランチBOXを提供

2022年12月

3か月に一度、佐賀大学医学部附属病院でもお弁当提供を行っています。地元農家から無償提供された生産物を使い、株式会社ディアーズ・ブレイン様の結婚式場「アクアデヴュー佐賀スィートテラス」のシェフが心を込めて調製。ランチBOX以外の月は、缶詰やお菓子などの詰め合わせをお届けしています。



クリスマスのスペシャルランチBOX



2023年6月

ご家族の声

どれもひと工夫されていて、こんなに贅沢でおしゃれでおいしいお弁当がいただけて幸せです。明日からまた頑張れます。

調理ボランティア
募集中です！



「天ぷら やす田」
店主・安田大吉さんと、
ほっとする日本食づくり



シェフと一緒に、
みんなで心を込めて作っています

ご家族の声

皆さんの温かい心が詰まったお弁当をおいしくいただきました。同じ病室のママと「おいしかったね～」と言い合って、疲れを忘れる幸せなひと時でした。

2023年4月



「つばめグリル銀座コア店」様の
筍ご飯のハンブルグステーキ弁当
40食ご寄付いただきました

やさしい味の中華で
癒されてください



老舗「味の中華
羽衣 銀座本店」様
からは、3種類の
中華弁当

2022年11月



彩り豊かで華やかな
ランチBOXをお届けします

佐賀スタッフと
任意団体「ノギ」の
学生さんが
お弁当をお届け



小児病棟への食支援活動を全国に広げるために6拠点でパイロット事業を展開

小児病棟での食支援を全国に広げるために6拠点（茨城・千葉・神奈川・愛知・香川・福岡）8施設で、さまざまな形態のパイロット事業を展開。この活動は「タケダ・ウェルビーイング・プログラム2022」の助成を受けています。

実施施設	提供方法	実施月
神奈川県立 こども医療センター	キッチンカー	6月（4回）
成田赤十字病院	ミールセット	8月、12月 （2回）
香川大学医学部附属病院・ 四国こどもとおとなの 医療センター	お接待ミール （お弁当）	10月（1回）
筑波大学附属病院・ 茨城県立こども病院	ミールセット	12月（1回）
日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第一病院	ミールセット	12月（1回）
ドナルド・ マクドナルド・ハウス ふくおかハウス	ボランティア の手作り食	9月～3月 （7回）

神奈川県立こども
医療センター／
キッチンカー



成田赤十字病院／
ミールセット



香川大学医学部
附属病院等／
お接待ミール



Support Goods

付き添い生活応援パック無償配付事業

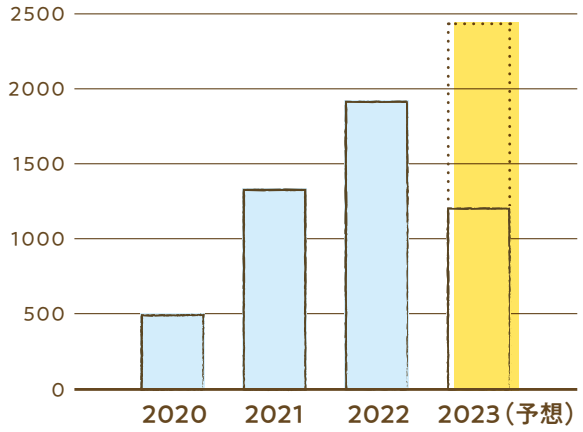
付き添い家族を支援する「付き添い生活応援パック」の無償配付は、全国の小児病棟の協力のもと拡大しています。



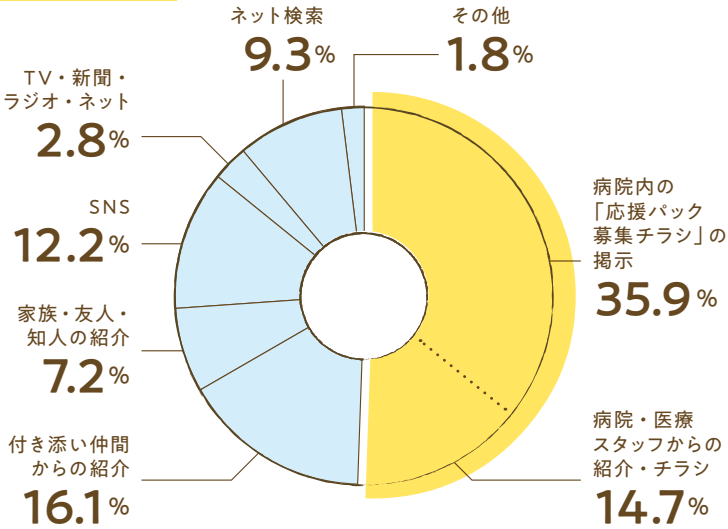
東京ピアノ運送株式会社様が
一都三県内の付き添いパックの配送を
無償でご支援くださっています。

一都三県は私たちが
届けています！

累計4982個。応援パックを全国の付き添い者に無償配付



◎応援パック配付数（年単位）



◎認知経路

2022年の送付数は1922個と順調に応募が増えており、累計で4900個を超えました（2023年6月末時点）。この事業には日本財団・日本歯科医師会「TOOTH FAIRY プロジェクト」の助成をいただいています。

全国の小児病棟のご協力により、認知経路の50%以上が病院内掲示や医療スタッフからの紹介です。また、家族や知人からの紹介も増えており、活動が広く一般にも知られつつある手応えを感じています。

支援品を提供してくださる協力企業は、累計で73社に

新規27社、累計73社が支援品の提供にご協力くださいました。新規企業様の一部をご紹介します。



①大正製薬株式会社　②三省製薬株式会社　③株式会社彩生舎　④旭酒造株式会社
⑤株式会社洋菓子舗ウエスト日野配送センター　⑥株式会社ユーグレナ　⑦日本ケロッグ合同会社
⑧株式会社たかくら新産業　⑨株式会社ジャパン・ファームプロダクツ　（敬称略）



満足度アンケートは、
5段階評価で
平均4.67



株式会社榮太樓總本舗
代表取締役社長
細田 将己様

思いのこもった活動を見て、「私たちにもできることはないですか?」と声をおかけしました。滞留在庫を有効に活用していただけたらと、飴や羊羹、おしるこなどをご提供しています。付き添う方は、どうかご自身のことも大切にしてください。おいしい和菓子で少しでもリフレッシュしていただければ嬉しいです。

応援パックの応募者が多い主な病院

応援パックを送付した病院数は累計363施設（2023年6月末時点）で、前年度から新規の病院が95施設増えました。全国の小児科中核病院の87％にお届けしており、この事業の認知度は高まっていると思われます。病院での掲示や声がけなど、病院スタッフのご協力に深く感謝いたします。一方、病棟で受け取れない病院もあり、支援が必要な方にすみやかにお届けできるよう、協力のお願いを行ってまいります。

	病院名	配布数
01	福岡市立こども病院	156
02	名古屋大学医学部附属病院	84
03	九州大学病院	71
04	京都府立医科大学附属病院	63
05	NHO静岡てんかん・神経医療センター	62
06	ボバース記念病院	61
07	大阪市立総合医療センター	55
08	沖縄県立南部医療センター・こども医療センター	50
09	兵庫県立こども病院	47
10	北海道大学病院	45
11	大阪母子医療センター	43
12	国立成育医療研究センター	42
13	山形大学医学部附属病院	39
13	札幌医科大学附属病院	39
15	福島県立医科大学附属病院	37
15	鹿児島大学病院	37
15	京都大学医学部附属病院	37

	病院名	配布数
18	あいち小児保健医療総合センター	34
18	東北大学病院	34
20	岡山大学病院	33
20	広島大学病院	33
20	熊本大学病院	33
20	北海道立子ども総合医療・療育センター	33
24	心身障害児総合医療療育センター	31
24	群馬県立小児医療センター	31
26	三重大学医学部附属病院	30
27	徳島大学病院	29
27	東京女子医科大学病院	29
29	富山大学附属病院	28
29	熊本市民病院	28
29	宮城県立こども病院	28

※2022年4月～2023年6月の期間において送付数が多かった上位31施設



受け取ったご家族の声

子どもと一緒に、「何が入ってるかな?」と楽しく開けました！いきなりの入院で必要最低限の物しか準備できず、自分の物は後回し。病院は乾燥しているのでリップや化粧水が嬉しかったです。助かる品物ばかりで、感謝しながら使わせていただきます。

経済面はもちろん精神面でも支えられ、心が温まりました。「なんで我が子が」という気持ちでいっぱいでしたが、前向きに治療に励む他の親御さんの姿を見たり、この応援団立ち上げの背景を知り、「自分も頑張ろう」と気持ちが変化しました。

質のよい品にびっくり。応援企業様のご厚意に胸がいっぱいです。シャワーも浴びられず、食事は子どもが寝た瞬間に走って2分でコンビニへ。簡易ベッドで縮こまって寝る。それでも我が子がどうしているかわからない状況のほうが苦しいから付き添えて嬉しい。生活の質が底辺の私に、今日は希望の光が届きました。

箱を開けて感動！付き添い仲間や看護師さんと中身を見てわいわい楽しい時間を過ごせました。缶詰のカレーは日持ちもして、ご飯さえあればそのまま食べられるので助かり、しかもおいしくてびっくり。化粧品など「帰宅したら使おう！」と退院を楽しみにできる物も入っていて嬉しかったです。

病院より

「当院は郵送物の受け取りは原則禁止です。でも、応援パックは付き添うお母さんたちの心の支えになっているので特別に許可しています」、「一緒に中身を見せてもらい安心しました。積極的に広報していきたいです」など、病棟や事務スタッフの方からの声もいただいています。

付き添い生活応援パック サポートプラス事業 始めました

付き添いのため働けず経済的に困窮しているひとり親で、かつ身内や友人など周りのサポートを得られにくい付き添い家族を対象に、お子さんが退院するまで継続的に付き添い生活に必要な物資等をお届けします。この活動は病院スタッフと緊密に連携しながら実施しています。

Website & Handbook

「つきそい応援団」サイトとハンドブックが誕生！

クラウドファンディングで多くの方のご支援をいただき、「同じ境遇のご家族を支えるクチコミサイト」が9月にオープン
23年4月には付き添い入院の情報をまとめたハンドブックも作成しました。

266名 300万円以上 クラウドファンディングでご支援いただきました

付き添い経験者の「知恵や知見」を、同じ立場に置かれた家族の「安心と笑顔」に変えたい。22年5月から6週間のクラウドファンディングを実施。266名の方から300万円を超えるご寄付をいただき、9月30日に「つきそい応援団」のサイトがオープンしました。



つきそい応援団ウェブサイト

初めての付き添いはわからないことばかり…。不安や心配を少しでも解消し、互いに助け合える掲示板やコンテンツを提供しています。

付き添いコラム

「つきそい応援団」編集部発、付き添いが少し楽になったり日々の暮らしのクオリティが上がったりするお役立ち情報。これから付き添い入院が始まるママやパパに向けて、エールを込めてお伝えしています。

病児・家族のサポート団体

全国の「病気の子どもとその家族を応援する団体」を紹介。自宅から離れた病院や土地勘のない地域で心細い思いをしているご家族が団体とつながる情報源にしたり、退院後に支え合える仲間を見つけたり…。仲間づくりの第一歩の役割を果たすのが目的です。

初めての付き添い

付き添い入院は、ある日突然始まります。ここでは必需品リストや、入院前後に病院に確認しておきたい項目など、初めての付き添い生活のスタートに役立つ基本情報を紹介。



会員登録をして、
あなたの知恵を
ぜひシェアしてください。

tsukisoi.jp

病院別掲示板

病院によって付き添いのルールや環境はさまざま。全国140以上の病院別に書き込める生活情報を、同じ病院の仲間で共有することを目的としています。自由にトピックスを立てることも可能です。



テーマ別掲示板

どこの病院に付き添っていても、共通して役立つ生活情報がテーマ別に書き込めるコーナーです。「付き添い中にもらって嬉しかったもの」といったトピックスもあり、付き添い家族だけでなく、周りでサポートする人にも参考になります。



つきそい応援団ハンドブック

お子さんが入院したらすぐに知ってほしい情報を8ページにぎゅっと詰め込んだ小冊子を制作しました。ダウンロードも可能です。また、病院の入退院受付窓口や小児病棟にて配布いただきたく、病院様に無償で郵送しています。右QRコードよりお申込みください。支援団体様もお申込み可能です。

相談のコツ

不安や困りごとがあっても「看護師さんは忙しそう…」と声をかけるのをためらうママ・パパは多いため、病棟のスタッフ別に役割と相談のコツを紹介しています。







食事・睡眠・入浴・買い物

多くの病院では、付き添い者が快適に生活するための設備が十分に整っていません。体調を崩さないよう、生活の4つの柱別に病院の状況と、「持ち込むと助かるもの」を紹介しています。





泊まり込みの必需品

子どものベッド周りが、付き添うママ・パパの生活空間になります。狭い空間で快適に過ごすための必需品とその用途を紹介。折りたたみ収納BOX、洗濯ばさみ付きロープ、サンダル、S字フックなど。



冊子のダウンロードや
申し込みはこちら

困りごと相談先一覧

子どもの入院に伴う、わからないことや困りごと、お金や生活まわり、同じ病気を経験している家族の情報など、テーマ別に利用できる公的制度や支援団体などを紹介しています。





仲間のクチコミは具体的で役立つ情報がいっぱい！(クチコミの例)

助成金や給付金情報

「GRN小児がん交通費等補助金制度」は、病院と自宅が片道100km以上離れている方が対象。小児がんの診断・入院治療のため、遠隔地の病院へ通う場合の交通費と宿泊費を助成してくれる制度です。(※)

あると便利なもの

タオルケットや大きめのブランケット。柵付きのベッドで添い寝の際、寝返りでガチャガチャいったり、柵の冷たさで起きることも！柵にかけたり、エアコンの暑さ寒さの対策にもなるので必須でした。その他、タコ足延長コード、洗濯バサミを紐で繋げたもの、ポケットWi-Fiなども便利です。

安眠・快眠グッズとコツ

腰の痛みを軽くするためにキャンプ用のエアーマットを持参。圧縮袋のように、空気を入れたり抜いたりが楽で扱いやすいです。少し大きいかなと思いましたが正解でした。腰が楽です!

院内おすすめスポット

北海道大学病院

植物の温室があり、癒されます♪ 平日30分は保育士さんが子どもを見てくれるのですが、お昼どきはレジが混むので時間を少しずらすのがオススメ。アメニティホールは人が多いですが、入院病棟の2階にそこを見下ろせる場所があり、一息つくのによいですよ。(※)

面会や付き添い時のルール

四国こどもとおとなの医療センター

ほとんどが個室でシャワー・トイレ・テレビ・冷凍付き冷蔵庫、ソファーベッドなどが部屋にあります。寝具セットも1回1000円で借りられます。添い寝したい場合は、相談すると患者用のベットを大きいサイズに変えてもらえます。(※)

病院内の情報

群馬県立小児医療センター

スープとおにぎりのキッチンカーfufufu-soupと申します。病院正面入口バス停の所で、毎週水曜11時～14時に出店しています。私たち夫婦も息子の闘病中に1年間付き添い入院を経験しました。付き添い入院中のママ・パパに温かい手作りの食事を食べてもらいたいとの想いで、夫婦でキッチンカーを始めました。(※)

※提供された時点の内容で最新の情報ではありません。

Research & Lobbying

付き添い実態調査を発表し、国に要望書を提出

付き添い環境の改善に向け、調査をもとに国や社会に働きかけることにも乗り出しました。
「経験者しか知らなかった」社会課題の認知が広がりつつあります。

調査にご協力いただいた有効回答数は3643人！

22年末に実施した「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」は、3643人の有効回答数を得て過去に例のない大規模調査となりました。23年6月1日には調査概要を発表し、こども家庭庁と厚生労働省に要望書を提出。翌日、小倉將信こども政策担当大臣が記者会見で、「付き添い入院の負担軽減に向け、今年度中に小児の医療機関を対象とした実態調査を行う」と明らかにしました。



こども家庭庁で
担当者に要望書を
手渡しました



調査の概要・要望書が
見られる記事はこちら

調査の概要

■実施期間と対象者
<2022 年 11 月 25 日~12 月 16 日実施>
2018 年~2022 年に0~17 歳の子どもの入院に付き添っていた人（病室の泊まり込みだけでなく、面会・通いによる付き添いも含む）

■調査目的
本調査によって労力提供型の付き添いが常態化していること、親が安心して付き添うための環境整備が社会的に立ち遅れていることを明らかにし、小児の付き添い問題を抜本的に解決する（インターネット調査）。

国に提出した要望書のポイント

1. 医療機関・行政・企業・NPO団体などが連携した付き添い環境改善の推進（特に食事・睡眠・見守りの支援）
2. 医療機関における「労力提供型付き添い」の実態把握とその理由の解明
3. ②を踏まえた上で、中央社会保険医療協議会等においての具体的改善策の再検討
4. 複数の当事者団体、第三者的な専門家を委員に含めた検討会の立ち上げ

私たちが目指す付き添いの世界

子どもがいつでも親と一緒に過ごすことのできる
入院環境を保障されている

＋

「付き添う」「付き添わない」は **選択できる**

付き添う場合
親が健康を損なうことなく、経済的な負担も少なく、安心して付き添える環境を整備すること（※）

付き添わない（付き添えない）場合
安心して医療者にまかせられる体制があり、子どもが親と触れ合いたいときにいつでも触れ合える環境が整備されていること

※親が付き添う場合、「きょうだい児」が親と触れ合いたいときにいつでも触れ合える環境整備も必要です。「子ども」とは、病気の子どもだけでなく、きょうだい児も含みます。

報道された数、230回以上

会見には20社26人の記者が参加。新聞やテレビ、ウェブメディアなどで230回以上取り上げられ、Yahoo!ニュースでは、当事者や医療関係者を中心に1000件を超えるコメントが寄せられました。国の動きを注視しつつ、環境改善に向けてさらに働きかけていきます。

多くのメディアで
ご紹介いただきました！





Smiling Family Days

病気の子どもと家族みんなを応援する啓発キャンペーン

実施期間：2023年5月14日（母の日）～6月18日（父の日）
付き添い環境の改善を目指し、社会課題として認識してもらうための啓発を行いました。

キャンペーン特設サイト

キャンペーン特設サイトには、期間中のイベント情報をはじめ、プレゼント提供や募金箱・パンフレットを置いてくださった49の協力店・企業様の情報や、病児や家族の支援団体（64団体）を紹介しました。



募金箱の設置にもご協力いただき、13万円以上が集まりました！







たくさんのご応募、ありがとうございました！

40社（者）の協力で242個のプレゼントが集まりました

初の試みとして、「＃あなたもつきそい応援団に」をつけて付き添い家族の存在をSNSで拡散した人にプレゼントが当たる特別企画を開催。企業様や著名人の方々のご協力で多くのプレゼントが提供され、付き添い当事者ではない方の投稿・拡散も見られました。

さまざまなイベントをオンラインで開催

病気の子どもたちとそのご家族を励ますためのイベント、食支援を行いたい人向けのノウハウ共有イベント、一般向けに「付き添い実態調査」を詳しく解説するイベントなどをオンライン開催しました。



6つの団体がオンラインでつながる
小児病棟わくわく応援団サミット

それぞれの活動と思いが、ぎゅっと伝わる中身の濃い90分でした。



全国各地の団体がノウハウを共有
食支援好事例共有シンポジウム

支援したい人が一歩を踏み出せる、運営のノウハウを共有する場になりました。



調査の概要を一般向けに詳しく解説
付き添い白書を読む会

調査内容に加え、付き添い制度の歴史や課題の整理も含めて解説しました。

Event



イベント・活動一覧（2022年4月～2023年6月）

食支援と応援パックによる物品支援を中心とした定期活動のほか、単発活動にも注力。
一連の活動を評価いただき、「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」に選出されました。

実施月		イベント・活動一覧	応援パック配布数	ミール提供数
2022年度	4月	● 助成金：公益財団法人キリン福祉財団「キリン・地域のちから応援事業」 ● 助成金：日本財団・日本歯科医師会「TOOTH FAIRYプロジェクト」 ● 助成金：「タケダ・ウェルビーイング・プログラム2022」	223	106
	5月	● 「Smiling Family Days 2022キャンペーン」開催（5月8日～6月19日） 5月21日「病気の子どもの学びをどうサポートする?」 5月22日「NPO・地域の力を活用して病気の子どもとその家族をもっと笑顔に！」 ● クラウドファンディング実施。266名より3,195,800円をご寄付いただき目標達成	195	110
	6月	● 6月4日「トークショー&ミニライブ～音楽のチカラで病気の子どもを育てる家族を元気に」 ● 6月19日「病気の子どもと家族の支援団体が集合★交流ブース&チャリティ販売&トークショーin佐賀」 ● 6月6,10,13,20日 キッチンカーdeスマイリングin神奈川県立こども医療センター ● 6月11-12日 イオンモール幕張新都心にてフードドライブ企画実施	187	113
	7月	● 7月9-10日 日本小児看護学会 第32回学術集会にて患者会ブース出展	165	118
	8月	● 8月20日「医療的ケア児・難病児・重症心身障害児の父親トークイベント」（共催）	182	122
	9月	● 9月4日 Salesforce社にてフードドライブイベント開催 ● 9月8日 ICCサミット KYOTO 2022「ソーシャルグッド・カタパルト」4位入賞 ● 9月30日 付き添い入院クチコミサイト「つきそい応援団」オープン	174	124
	10月	● 10月24日「お接待ミールin香川」実施 ● 助成金：認定NPO法人しんぐるまざあず・ふぉーらむ「だいじょうぶだよ！基金」	164	123
	11月	● 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」実施（11月25日～12月16日）	179	118
	12月	● 12月18日「FITチャリティ・ラン2022」参加 ● 12月31日 3年ぶりの大晦日ミールdeスマイリング開催	194	195
	1月	● 助成金：公益財団法人 公益推進協会「For Children基金」	200	64
	2月	● 2月13日 日本生命倫理学会「新生児・小児部会」定例研究会 話題提供	195	123
	3月	● 岩佐教育文化財団「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」受賞 ● 3月13日 FITチャリティ・ラン贈呈式	174	110
2023年度	4月	● 「つきそい応援団ハンドブック」発行、全国の約700病院に配布 ● 4月11日「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」2022年度授賞式	161	103
	5月	● 「Smiling Family Days2023キャンペーン」開催（5月14日～6月18日） 啓発プレゼントキャンペーン「ネットde拡散大作戦」実施 ● 5月14日 小児病棟わくわく応援団サミット2023「病院と応援団がわくわくとつながる90分」開催	225	102
	6月	● 6月1日「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」 結果概要を記者発表／こども家庭庁と厚生労働省に要望書提出 ● 6月3日 食支援好事例共有シンポジウム「美味しいごはんで付き添い家族を応援！」開催 ● 6月4日「キャンサーサバイバーズデー2023」ブース出展 ● 6月18日 オンラインシンポジウム「付き添い白書を読む会」開催	241	111









Accounting Report

決算報告

2022年度は助成金が対前年351％増となり、受け取り寄附金は前年微減でしたが「付き添い実態調査」など新たな活動に取り組むことができました。23年度は定期事業に加え、ウェブサイトの充実など団体の成長に合わせた基盤作り、さらに動き出した付き添い環境改善に向けた政策提言などにも取り組んでいきます。

2022年度 活動計算書

（2022年4月1日～2023年3月31日）

	科目	金額
経常収益	受取会費	1,212,000
	受取寄附金	21,463,356
	受取助成金等	12,343,000
	その他収益	1,060,692
	経常収益合計	36,079,048
経常費用	付き添い生活支援事業	21,464,424
	調査・普及啓発事業	1,847,180
	管理費	2,460,381
	経常費用合計	25,771,985
経常増減額		10,307,063

2023年度 活動予算書

（2023年4月1日～2024年3月31日）

	科目	金額
経常収益	受取会費	1,140,000
	受取寄附金	20,620,000
	受取助成金等	8,770,000
	その他収益	0
	経常収益合計	30,530,000
経常費用	付き添い生活支援事業	23,151,445
	調査・普及啓発事業	7,760,400
	管理費	8,982,905
	経常費用合計	39,894,750
経常増減額		-9,364,750

助成金

私たちの活動は、ご寄付だけでなく、さまざまな助成金に支えられています。多くは支援事業に対する助成で、「TOOTH FAIRY」は応援パック等、「地域のちから」、「For Children」はミールdeスマイリング、「タケダ・ウェルビーイング・プログラム」は全国の食支援の仕組みづくりに活用させていただいています。皆さまの期待に応えられるよう全力で活動していきます。

2022年度の活動をご支援いただいた助成金

- キリン・地域のちから応援事業（キリン福祉財団）
- タケダ・ウェルビーイング・プログラム2022（武田薬品工業株式会社）
- TOOTH FAIRYプロジェクト（日本財団・日本歯科医師会）
- 中央区社会貢献活動事業補助金
- だいじょうぶだよ！基金（しんぐるまざあず・ふぉーらむ）
- For Children基金（公益推進協会）

2023年度に決定している助成金

（※2023年7月時点）

- FITチャリティラン
- SDGs岩佐賞（岩佐教育文化財団）
- キリン・地域のちから応援事業（キリン福祉財団）
- TOOTH FAIRYプロジェクト（日本財団・日本歯科医師会）
- タケダ・ウェルビーイング・プログラム2023（武田薬品工業株式会社）



キリン福祉財団受賞写真

個人も法人も、さまざまな支援方法があります。
ぜひSmile Keepersになってください！

支援の方法を見る

通常のご寄付だけでなく、毎月寄付で支援する「マンスリーサポーター」、
不用品の売り上げやAmazonウィッシュリスト、
ふるさと納税など、さまざまな支援方法をご用意しています。
また、ボランティアも随時募集しています。



Media

メディア掲載・講演一覧

多くのメディアを通じて私たちが対峙する付き添いの現状と課題、取り組んでいる支援活動を広く社会に周知しました。引き続き、メディアとの連携・協力体制を強化していきます。

	掲載月	メディア名
2022年度	5月	● 日本経済新聞・地方紙（共同通信） 「付き添い入院の親支援9月に口コミサイト」
	6月	● 雑誌「小児看護」6月号 特別論稿「入院している子どもに付き添う家族への支援」（寄稿） ● 日本経済新聞・地方紙（共同通信） 「病児の親に出来立て料理　横浜の病院にキッチンカー」
	8月	● NIKKEI STYLE「グルメクラブ 食の達人コラム」 オリジナル缶詰が紹介
	10月	● 東京玉川ライオンズクラブSDGs支部創立記念講演会（講演） ● RNC西日本放送news every.「お接待ミールin香川」
	11月	● Yahoo!ニュース（共同通信） 「医療的ケア児や難病児をもつ父親のトークイベント」 ● 第51回全国社会福祉教育セミナー（講演） ● 四国新聞「お接待ミールin香川」
	12月	● 全国地方紙、Yahoo!ニュース（共同通信） 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」 ● 東京都中央区「協働ステーション中央」主催交流イベント（ゲスト参加） ● たまひよONLINE、活動記事掲載（3回シリーズ） ● アラブニュース・ジャパン「東京中央新ロータリークラブ寄贈品の贈呈式」 ● Paranaviインタビュー掲載 ● Well-living Labインタビュー掲載
2023年度	2月	● 熊本日日新聞インタビュー掲載 ● かんさい情報ネットten.インタビュー放映 ● NHK WEB特集「病気の息子に付き添う日々の中で」インタビュー掲載
	3月	● 中央区立銀座中学校（講演） ● 中央区立佃中学校（講演） ● 朝日新聞「SDGsジャパンスカラシップ岩佐賞」（受賞発表・活動紹介）
	5月	● 関東地区病院ボランティアの会（講演）
	6月	● 新聞、テレビ、ウェブメディアで230回以上報道（8ページ参照） 「入院中の子どもに付き添う家族の生活実態調査2022」概要発表 国へ要望書を提出 ● 読売テレビ　ニュースten.「カラフル」特集 ● 一般社団法人 日本リユース機構会員総会（講演）



「付き添い実態調査」発表では、国に要望書を提出するシーンも報道されました



中央区立佃中学校での講演会。学校から講演の依頼をいただくことが増えました

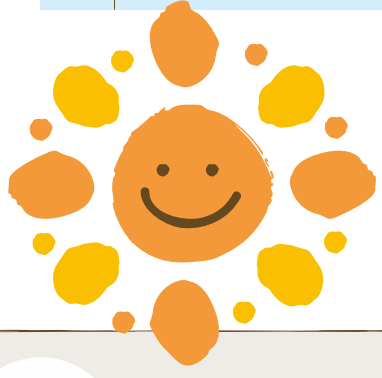


547件の応募総数の中から、「SDGs岩佐賞」医療の部の一つに選ばれました



この番組を見る

読売テレビのニュースten.「カラフル」で光原理事長を特集。活動内容と想いが伝わる15分





SAHNE®
本冊子はザーネブランドの
協力により制作しております。

特定非営利活動法人キープ・ママ・スマイリング
〒104-0061　東京都中央区銀座4-13-19 銀林ビル4F
info@momsmile.jp　https://momsmile.jp

2023年9月制作